

広島県看護連盟通信

一粒のちから

HITOTSUBU NO TIKARA

第154号

令和元年5月31日発行

CONTENTS

- 会長メッセージ……………P1
- 石田まさひろ参議院議員の活動……………P2
- 令和元年度広島県看護連盟通常総会……………P3.4
プログラム・活動計画(案)
- 研修会報告……………P5
- 支部探訪……………P6
- 「私にとっておき」……………P7

会員数
(2019.4.23現在)
6,238名

●6/23(日)16:00～

石田まさひろ議員国政報告会

会長メッセージ

看護に輝きを

広島県看護連盟 会長 板谷 美智子



目にも鮮やかな新緑の輝きに、命の芽生えを実感する季節を迎えました。さて、会員の皆様には、7月に迎えます第25回参議院選挙に向けて、多くのご支援・ご協力を頂きありがとうございます。

昨年7月に広島県は想像だにできなかった西日本豪雨災害に見舞われ、尊い多くの命が奪われ、今だ復興なかばにあります。被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。災害直後より全国の看護連盟より、被災された連盟会員に見舞金を送りたいとの多くのお声を頂きましたが、広島県看護連盟は広島県看護協会と協議の上、義援金口座は看護協会が開設することになっています。そのため、義援金口座がなく看護連盟の普通口座に全国から多くの見舞金がよせられました。本当に胸が熱くなりました。

総額**4,167,671円**にもなり、全額、広島県看護連盟見舞金申請者83名の皆様に配分させていただきました。看護の優しさ、強さ、看護連盟の絆を実感しました。

また、被災直後から、参議院石田まさひろ議員を始め、看護職代表の国会議員から多くの励ましとご支援を頂きました。大変にこころ強く、国政に看護の代表国会議員がなぜ必要かその重要性について改めて再認識しました。看護連盟ここにあります。

さあ、会員の皆さん、広島県看護連盟は自分たちの使命のために、力を結集し、全国の看護連盟会員に「皆さん、ありがとう、広島は元気です。」

広島県看護連盟の目標を達成し、全国にありがとうを発信しましょう!!

石田まさひろ参議院議員の 来広予定

6月23日
(日)

16:00～総決起大会(励ます会)があります!!
場所:リーガロイヤルホテル広島4F

皆様ご参加を
お願いいたします。

石田まさひろ議員プロフィール

1967年 奈良県大和郡山市生まれ。兵庫県・甲陽学院高等学校卒業。1990年 東京大学医学部保健学科卒業。在学中は応援部の活動に精力を注いだ。当時ほとんどいなかった男性の看護師として聖路加国際病院(内科)東京武蔵野病院(精神科)に勤務。その後、日本看護協会政策企画室長として看護関連政策の立案・調整に従事。続いて38歳で日本看護連盟幹事長に就任し各級選挙のかじ取りをする。

2013年 比例区(全国)にて参議院議員初当選。現在の役職 参議院 厚生労働委員長、沖縄及び北方問題に関する特別委員会 委員、資源エネルギーに関する調査会 委員、自民党 財務金融部会・厚生労働部会 副部会長(HPより)

石田まさひろ議員の活動状況

現場の声をもとに関係省庁と折衝をかさねてこられました。

- ◆「一般病棟入院基本料」の維持
- ◆外來の役割を変える「入院時支援加算」
- ◆記録・事務作業の合理化・簡素化に向けた見直し
- ◆療養病棟の「夜間看護」配置加算の新設
- ◆看取りのための環境整備を強化
- ◆訪問看護に置ける看護職の複数名訪問の条件緩和



H30.12.15 (一陽会 原田病院にて)

「石田まさひろを応援する会」へ 入会いただいていますか?

現在、広島県看護連盟は全国の看護連盟とともに、「石田まさひろを応援する会」の活動を推進しています。まずは、連盟会員の皆さまにご入会いただくことです。施設のフロアリーダーが、お手元に入会用紙を届けています。ぜひ、ご入会下さい。

“看護職の問題は看護職で解決する!”

石田まさひろ参議院議員を、全国の会員とともに応援しましょう。

100%入会を
目指して
いま～す!



令和元年度 通常総会プログラム

期日 令和元年6月23日(日) 場所 リーガロイヤルホテル広島

プログラム

13:00	開 場		平成30年度 委員会活動報告
14:00	開 会		平成30年度 中四国ブロック看護政策セミナー参加報告
	物故会員への黙祷		平成30年度 決算報告・監査報告
	会長挨拶	14:50	審 議 事 項
	来賓祝辞		第1号議案 令和元年度 スローガン(案)
	日本看護連盟新名誉会員披露		第2号議案 令和元年度 活動計画(案)
	祝電披露		第3号議案 令和元年度 予算(案)
14:15	開会宣言		第4号議案 第25回参議院選挙対策(案)
	議長団選出		第5号議案 令和元年度改選役員・推薦委員の選出(案)
	議事録署名人の決定		議長団解任
14:20	報 告 事 項		退任役員への謝辞
	平成30年度 広島県看護連盟通常総会議事録朗読		新任役員紹介
	平成30年度 都道府県会長会・中四国ブロック会長会・		日本看護連盟綱領宣言
	都道府県別会議報告		日本看護連盟の歌斉唱
	令和元年度 日本看護連盟通常総会報告	15:40	閉 会
	平成30年度 役員会報告		
	平成30年度 支部長会報告		職域支部総会(書面報告)
	平成30年度 活動報告		
	平成30年度 支部活動報告	16:00~17:00	「石田まさひろ総決起大会」

活動計画案

重点目標

- 1 政治力の強化 1)第25回参議院選挙の勝利
2 組織力の強化 1)支部・施設活動の活性化 2)人材育成

(★新規取組み)

目標1 組織代表を国政に送る

- 活動 1)日本看護連盟(以下日看護)と連携して後援会活動を推進する

2)公職選挙法の遵守

(内容・方法等)

- ★第25回参議院選に向けて会員の力を結集する
- ★石田まさひろ後援会活動を強力に推進する
- ★総決起大会の開催

目標2 組織代表議員の活動を知る

- 活動 1)活動状況を会員へ周知
2)情報発信の手段を周知

(内容・方法等)

- ・機関誌「一粒のちから」で石田まさひろ議員の活動を広報する
- ・研修会・交流会等、あらゆる機会を通じて石田まさひろ議員を周知する機関紙、各種グッズ等を活用
- ・議員の公式HP、機関紙、活動報告等を積極的に活用する
- ★県連盟HPなどで周知

目標3 看護現場の課題を発信する

- 活動 1)組織代表に現場の課題を提供し、政策提言する
2)関係議員や関係団体に陳情・要望活動を行う

(内容・方法等)

- ・会員と現場の課題を共有し、政策要望に反映させる
- ・看護協会とともに、県知事・県議会へ政策要望を提出する
- ・自民党「政策要望を聞く会」で要望を提出する

目標4 継続して4人の看護職国会議員を確保する

- 活動 1)参議院組織代表議員を支援する
・たかがい恵美子議員 ・石田まさひろ議員
2)衆議院岡山3区、京都5区を支援する
・あべ俊子 ・木村やよい議員

(内容・方法等)

- ・日看護および全国の看護連盟と連携して活動する
- ・研修会、交流会等を企画し、議員との連携を深める
- ・日看護と連携し、岡山県看護連盟、京都府看護連盟を支援する

目標5 国会への影響力を強める

- 活動 1)県選出国会議員との連携を強化する

(内容・方法等)

- ・第25回参議院選挙への支援を依頼する ・国政報告会、励ます会等の議員主催行事へ出席する
- ・議員主催行事へ積極的に参加し、連携を深める ・看護を支援する国会議員を応援する
- ・県選出国会議員を県連盟通常総会に来賓として招待する

目標6 地方議会への影響力を強める

- 活動 1)県議会議員・市議会議員との連携を強化する

(内容・方法等)

- ・第25回参議院選挙への支援を依頼する
- ・統一地方選挙において県議会議員の看護問題対策議員懇話会の議員を支援する
- ・統一地方選挙において看護を応援している市議会議員を支援する
- ・議員主催の行事へ積極的に参加し、連携を深める
- ・県議会議員・市議会議員を県連盟通常総会に来賓として招待する

目標7 日看護、都道府県看護連盟との連携を強化する

- 活動 1)日看護との連携を強化する
2)都道府県看護連盟との連携を強化する

(内容・方法等)

- ・日看護と課題を共有し、活動を強化する
- ・中四国ブロックの会議に出席し、ブロック内の各看護連盟と情報を共有し連携を深める

目標1 会員数の増加

- 活動**
- 1) 会員増へ積極的に取り組む
令和元年度目標数 6800人
看護協会比 34%
 - 2) 委員会活動を推進・強化する
 - 3) 看護管理者・教育者の連盟活動への理解を深める
 - 4) 特別会員の入会を促進する
 - 5) 学生会員の入会を促進する

- (内容・方法等)
- ・研修会等を通じて連盟活動について周知する
 - ・県連盟と県協会、県連盟と支部が連携して会員増に取り組む
 - ・施設訪問を計画的に実施し、できるだけ多くの未入会看護職に入会を促進する
 - ・フロアリーダーが未入会の若手看護職に働きかける
 - ・委員会活動の目的を明確にして、活性化を図る
 - ・青年部委員が、支部役員会にオブザーバーとして出席し、支部との連携を強化する
 - ・青年部委員会は若手会員等に向けて委員会活動を積極的に周知するキャラバン隊(出前講座)実施
 - ・広報委員会は機関誌発行を通して、連盟活動について普及・啓発を図る
 - ・中四国ブロックで開催する看護管理者・看護教育者の看護政策セミナーに参加し連盟活動への理解を深める(令和元年度は岡山県)
 - ・特別会員について周知し、入会への働きかけを行う ・看護教育機関との連携強化について検討する

目標2 組織体制の強化

- 活動**
- 1) 活動しやすい組織体制を整備する
 - 2) 人材を育成する
 - 3) 県協会との連携を深める

- (内容・方法等)
- ・県連盟・支部・施設が一体的に活動できる組織づくりを行う
 - ・連盟活動推進会議で活動方針等の情報を共有する
 - ・支部と施設が連携して施設内フロアリーダー会を開催する
 - ★フロアリーダーの活躍しやすい環境作り
 - ・連盟活動を担う若手会員を育成する
 - ・連盟と協会の会長が、情報を共有し連携を強化する

目標3 連盟活動支援者の拡大

- 活動**
- 1) 看護職OB 2) 賛助会員
 - 3) 支援団体や支援企業との交流を促進する

- (内容・方法等)
- ・看護職OBや賛助会員への働きかけについて検討する
 - ・支援団体や支援企業との連携を図る

目標4 支部活動・施設内活動の推進

- 活動**
- 1) 支部体制・支部活動を強化する
 - 2) 協会支部との連携を深める
 - 3) 施設内活動を強化する

- (内容・方法等)
- ・支部の会議や研修会・交流会等を計画的に実施する ・支部役員が役割を認識して活動する
 - ・支部・施設連絡会議や施設内フロアリーダー会を通して、支部と施設が連携を強化する
 - ・県幹事が支部活動(会議、施設訪問等)に参加する ・県役員が講師として支部研修等へ出向く
 - ・連盟支部、協会支部は情報を共有して活動する ・共催での研修会や交流会を実施する
 - ・施設内役員は連盟活動推進会議へ参加し、情報を共有する
 - ・フロアリーダー会を定例化し、施設内での連携を強化する
 - ・「施設における連盟活動の手引き」を活用する
 - ・フロアリーダーは未入会看護職に入会を働きかける ・研修会等へ県・支部役員の講師派遣をする

目標5 「看護連盟と政治活動」「看護政策と政治活動」について会員研修を推進する

- 活動**
- 1) 県主催研修の企画・実施
 - 2) 支部主催研修の企画・実施
 - 3) 施設内研修の実施

- (内容・方法等)
- ・新人会員研修(広島・福山各1回) ・2年目フォローアップ研修 ★3年目フォローアップ研修
 - ・会員研修 ・看護技術研修(企業共催) ・青年部研修会(ポリナビワークショップ)
 - ・施設代表者研修(協会共催)
 - ・連盟活動推進会議(広島2回、福山1回) ・支部会員研修 ・支部会員交流会 等
 - ・基礎研修

目標6 会員への広報活動を推進する

- 活動**
- 1) 連盟活動の広報
 - 2) 組織代表国会議員の活動を広報

- (内容・方法等)
- ・研修会・交流会等を通して、連盟活動を紹介するDVD・パワーポイント、グッズ等を活用
 - ・県連盟機関誌「一粒のちから」を年3回発行し、個々の会員へ送付する
 - ・スプラウト通信を発行して青年部活動を周知する
 - ・県連盟HPを活用し連盟活動を広報する
 - ・日看連および県連盟の機関誌やHPを活用する

目標7 非会員に対して広報活動を行う

- 活動**
- 1) 連盟活動の広報
 - 2) 組織代表議員の活動紹介

- (内容・方法等)
- ・今後、広報活動の方法について検討する

目標1 会務・財務の管理

- 活動**
- 1) 会務執行と財務の適正管理
 - 2) 会議の開催(県・支部・施設)
 - 3) 日看連との連携

- (内容・方法等)
- ・事業の適切な執行管理 ・予算の適切な執行管理 ・監査 年4回(4月、7月、10月、1月)
 - ・県 連盟通常総会、役員会、支部長会、政策企画会議、連盟活動推進会議、委員会等
 - ・支部 支部役員会、支部・施設連絡会 一人役員施設フロアリーダー会
 - ・施設 施設内フロアリーダー会
 - ・日本看護連盟総会、全国都道府県協会長会、中四国ブロック協議会会長会、都道府県別会議

目標2 会員情報の管理

- 活動**
- 1) 個人情報の適正管理

- (内容・方法等)
- ・会員の入会に関する事務 ・後援会入会に関する事務

目標3 会員の福祉

- (内容・方法等)
- ・慶弔・お見舞等への対応 ・活動に対する傷害保険への加入

県連盟の活動 研修会報告

「第9回ポリナビワークショップin広島」開催



2月9日、第9回ポリナビワークショップが開催されました。20～30代の若い方を中心に140名という大勢の参加がありました。「看護と政治のつながり」と題して板谷会長より講演がありました。私達がやりがいを持って働き続けるためには連盟活動が大切であることがよくわかりました。

続いて広島県看護連盟相談役である松村啓史より「熱狂する看護連盟活動 連盟を通じて看護を元気に」と題する講演がありました。ユーモアを交え、未来産業である看護の凄さ、楽しさを改めて再認識することができ、参加者全員が明日からの活力を得ることができました。

青年部委員 山崎大輔

山口ミユキ先生 特別講演会



熱弁される山口ミユキ先生

日時 平成31年2月27日(水)
会場 看護協会 3階大研修室
演題 「ただひとすじに走り続けた私の看護」
～今90歳 そして明日を生きる～

長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口ミユキ先生の講演が上記日程で開催され、200余名の参加がありました。

戦前・戦中・戦後を駆け抜け、長年、看護界発展の為に活躍されてきた先生の講演は、90歳というお歳を全く感じさせない驚きの2時間ノンストップ!職場組織の中で経験された政治力に関する様々な教訓や、ご自身の闘病エピソードの数々に、先生の真っ直ぐな人柄やご家族との強い絆を感じ、笑いあり涙ありの会場は2月の寒さも吹き飛ばすような熱気に包まれました。

『OBナースの役割は、現役ナースができない地域との繋がりを拡げていく事。現役の皆さんは自分達が今いる職場で、今できる活動を精一杯頑張ってください。』と、私達若輩(?)会員に向けての熱いエールもいただき、圧巻の講演に感動した一日でした。

広報委員 小玉ルミ子

支部探訪



福山・府中支部

「交流会について」

平成30年10月27日(土)

福山・府中支部 支部長
府中市病院機構府中市民病院
小川 恵



福山・府中支部の看護協会と共催した交流事業で「看護連盟の歴史についてのお話」と「プリザーブドフラワー・アレンジメント」を行いました。

講師の児玉美喜子先生のご指導のもと、ワイヤリングの手法を学び、バラやカスミ草などを、アレンジメントしました。

花のカラー以外は同じ材料にもかかわらず、出来上がってみると皆それぞれの個性がキラリ! 一つ一つ表情の違う作品が出来上がりました。アレンジメントをしながら、会話ははずみ、あっという間に時間が過ぎていきました。



平成30年7月 西日本豪雨災害義援金について



全国の看護連盟・会員の皆様から4,167,671円(含む日本看護連盟より100万円)の義援金が届けられました。義援金は配分委員会で傾斜配分(12万円・6万円・3万円)を承認いただき、83名の方々に配分させていただきました。被災者の皆様にお見舞い申し上げますと共に、全国の皆様へ感謝申し上げます。

看護連盟の掲示板ができました。

看護協会3F交流室にできました!! ぜひご覧ください。



私のとっておき

大きくなりたいと2年前から始めた 筋カトレーニング



(左から2番目が升本さん)

2年前と比べ10kgも体重が増え、他スタッフや友人から「大きくなったね」と声をかけて頂く事が多くなりました。

トレーニング内容はBIG3(ベンチプレス・デッドリフト・スクワット)を中心にその他のメニューを組み合わせ週に5回程部位を変えて行っています。

今年はフィジークという競技に挑戦しようと思っており、これから減量と辛い日々が待っていますが、理想の体に近づけるよう日々のトレーニングや食事、ジム仲間と切磋琢磨し日々成長していきたいです!

東広島・竹原支部
西条中央病院 升本 浩平

新人会員研修会

■福山会場
令和元年6月28日(金) 13:30~16:30
福山市ものづくり交流館

■広島会場
令和元年7月3日(水) 13:30~16:30
看護協会会館3F

■内容 講演「看護連盟の活動について」
広島県看護連盟会長 板谷 美智子
ラベルワーク「連盟活動で私ができること」
広島県看護連盟幹事 大屋 八重子

2年目フォローアップ研修会

令和元年7月2日(火)
広島会場 13:30 ~ 16:30

3年目フォローアップ研修会

令和元年7月4日(木)
広島会場 13:30 ~ 16:30

抱きつきやすい形状 守られている安心感

HUG PILLOW
超極細ビーズ素材 採用

抱き枕

さらさら ブラック

しっとり ラベンダーピンク

18,000円 (税込価格)

東洋羽毛中四国販売株式会社 広島営業所 0120-828-226
〒731-0113 広島県広島市安佐南区西原1-12-12

編集後記

新年度を迎え、環境の変わった方も多くいらっしゃったかと思われます。この編集後記を書いている時点ではまだ時代は平成ですが、新しい風が吹いているのだらうと想像をしています。2025年が近づき、看護をめぐる環境も変化の風が訪れようとしています。自然の風とは違い、看護の環境は看護師一人ひとりの力で変えることができます。新年度・新元号とともに、「選挙に忘れずに行く」という新たな習慣を試みるのはいかがでしょうか。

(広報委員一同)